壱岐市公園アンケート調査

Ⅰ. 調査概要

1. 調査概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

調査対象・方法・期間・回答数

2. 調査の背景と目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

3. 調査項目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

4. 回答者の属性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

年齢層の分布

居住地の分布

Ⅱ. 公園の利用実態とニーズ

1. 利用頻度の分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

年代別利用頻度の傾向

2. 利用形態と目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

同行者および利用目的の集計結果

3. 遊具の充実に関する要望・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

充実させたい遊具ランキング（滑り台・複合遊具・ブランコ等）

4. 主要公園の利用状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

市内主要公園の利用者数比較

人気上位公園におけるニーズの共通点

5. 市民の「生の声」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

Ⅲ. 総括と今後の展望

1. 本調査のまとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

2. 長期的な視点に立った公園整備の方針・・・・・・・・・・・・6

Ⅰ．調査概要

1）調査概要

・調査対象：壱岐市内全域
・調査方法：Webアンケート
・調査期間：令和８年8月27日（木）から9 月30 日（水）まで
・回 答 数：855件

2）調査の背景と目的

本調査は、壱岐市内の公園利用状況を把握し、市民（特に子育て世代）が真に求めている公園環境を数値化・具体化することで、今後の整備計画の優先順位を明確にすることを目的とする。

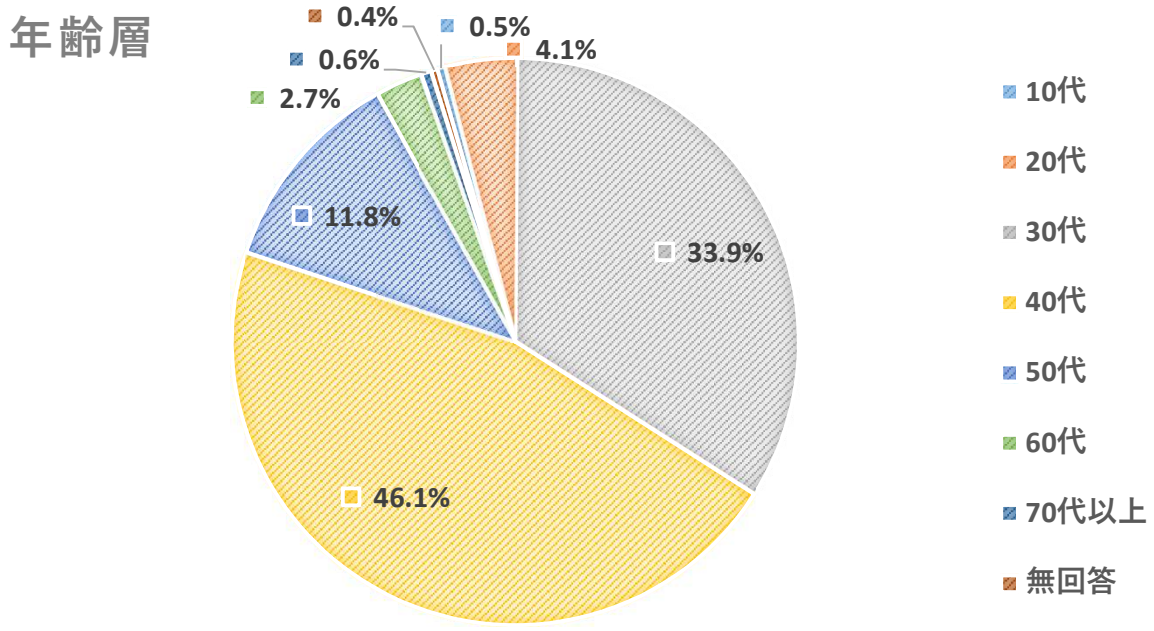
3）調査項目

・基本情報（年齢、居住地）
・公園利用について（利用頻度、よく行く公園、目的）
・整備について（充実させたい遊具、どのような公園で遊ばせたいか）

4）回答者の属性

集計項目：Q1.あなたの年齢をお答えください。（n=855）

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
4	35	290	394	101	23	5	3

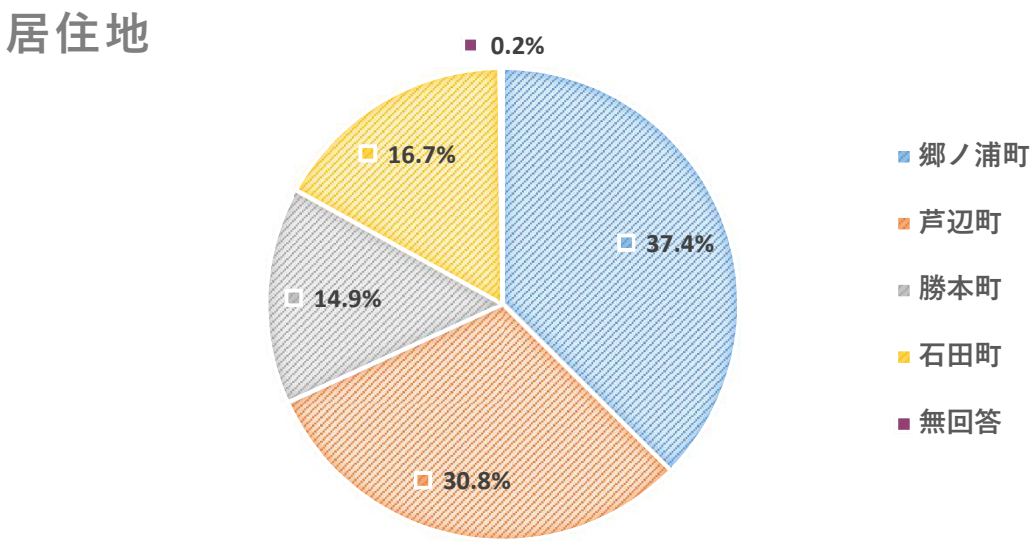


年齢について、全体の80％が30代（34％）と40代（46％）だった。

アンケートの回答方法がWebであったことや小学生・幼稚園・保育園の保護者へ広報誌とは別に周知したことで、子育て世帯からの回答が多くなったものと伺える。

集計項目：Q2.あなたのお住まいはどちらですか？（n=855）

郷ノ浦町	芦辺町	勝本町	石田町	無回答
320	263	127	143	2



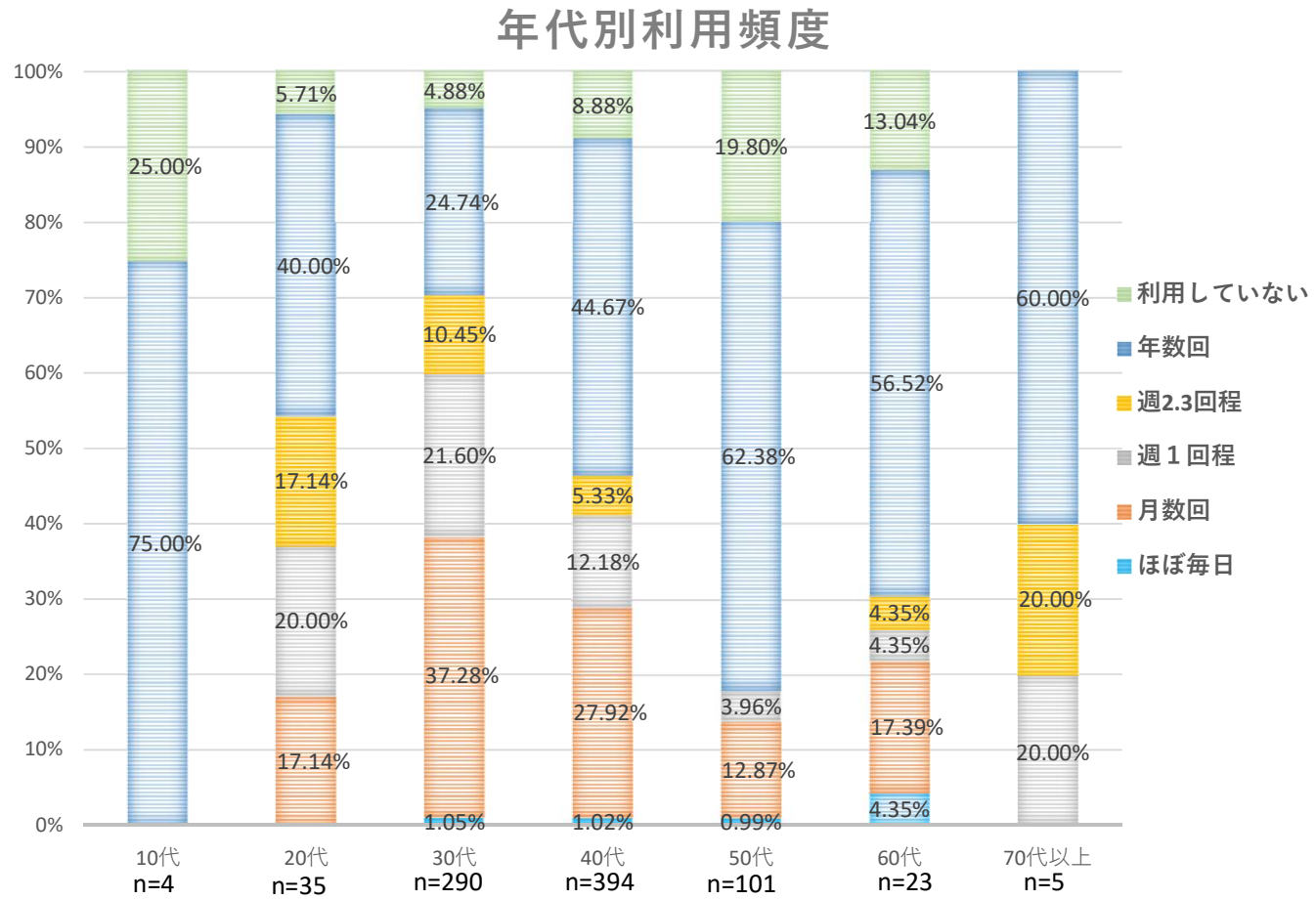
回答者の居住地は郷ノ浦町（37%）と芦辺町（31%）が大半を占めていた。

Ⅱ. 公園の利用実態とニーズ

1）利用頻度の分析

集計項目：Q3.公園の利用頻度を教えてください。（n=855）

ほぼ毎日	週2.3回程	週1回程	月数回	年数回	利用していない	無回答
9	60	124	241	343	75	3



20代から40代にかけては、未就学児や小・中学校の子供を持つ親世代であり、公園がただの遊び場だけでなく、育児のインフラとして機能している。

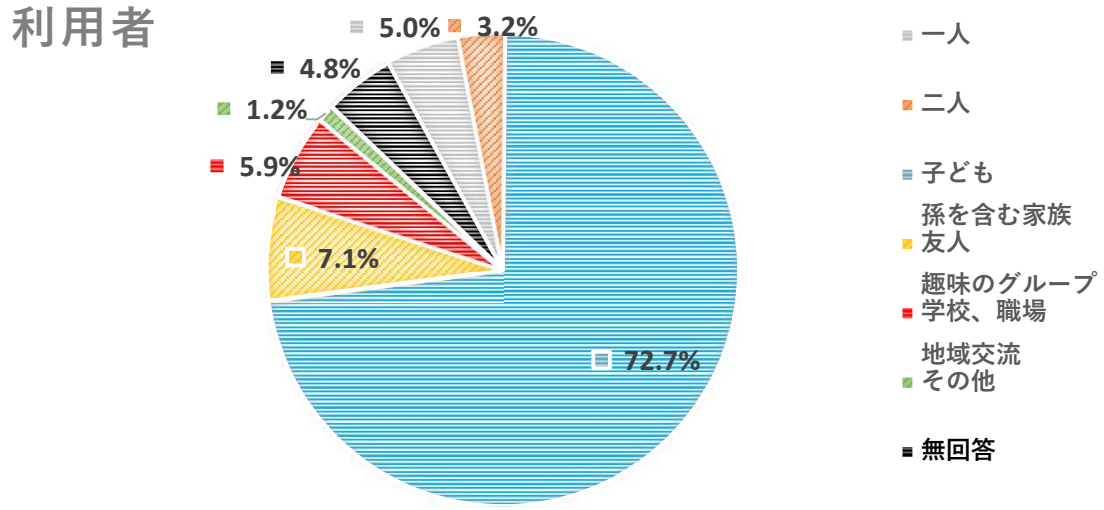
しかし、50代以降については月数回程の利用となっており、健康遊具や散歩ができる公園が少ないことが起因しているものと思われる。

2） 利用形態と目的

集計項目：Q4.その公園は誰と利用していますか？ （n=998）

一人	二人	子ども 孫を含む家族	友人 趣味のグループ	学校、職場 地域交流	その他	無回答
50	32	726	71	59	12	48

※複数選択のため延べ数

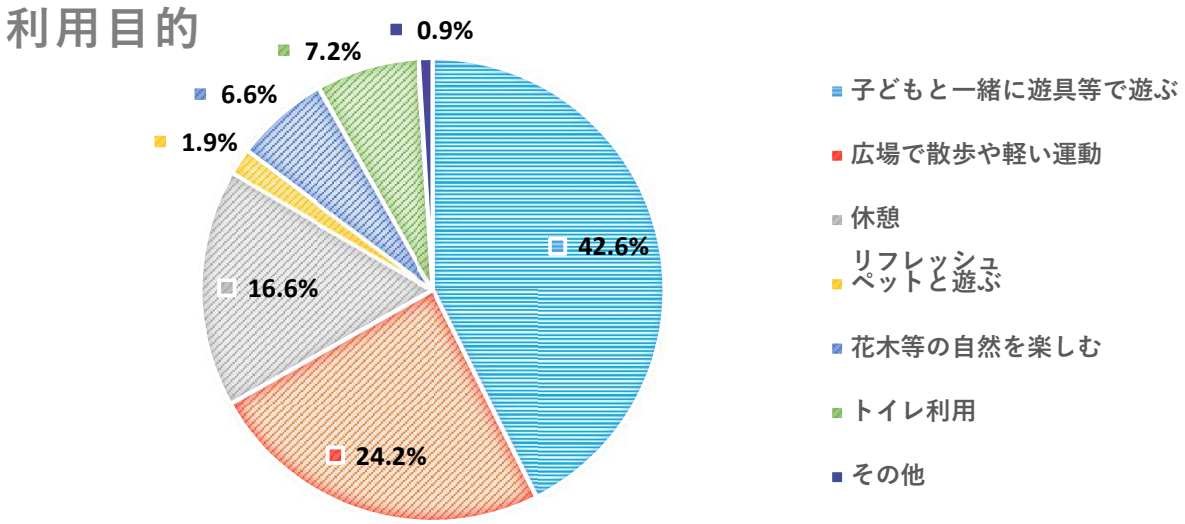


7割以上が子ども、孫を含んだ家族での利用であった。また、延べ数で153件が「一人」,「二人」,「友人、趣味のグループ」で利用されており、散歩やリフレッシュといった回答だった。

集計項目：Q5.公園利用の目的を3つまで回答してください。(n=1610)

子どもと一緒に 遊具等で遊ぶ	広場で散歩や軽 い運動	休憩 リフレッシュ	ペットと遊ぶ	花木等の自然を 楽しむ	トイレ利用	その他
686	390	267	30	106	116	15

※複数選択のため延べ数



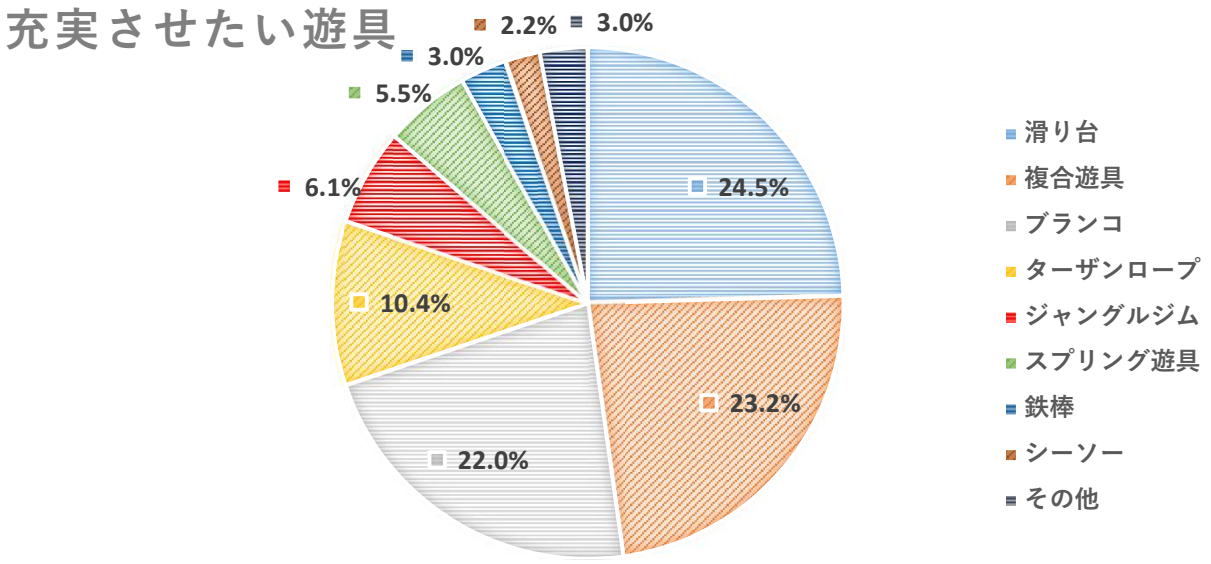
4割の方が子どもと一緒に遊ばれているが、「広場で散歩や軽い運動」、「休憩、リフレッシュ」と回答している方を合わせたら4割を超える。

3）遊具の充実に関する要望

集計項目：Q6.よく利用している公園において、充実させた方がよいと思われる遊具を3つまで回答してください。（n=2152）

ブランコ	スプリング遊具	滑り台	シーソー	ターザンロープ	鉄棒	ジャングルジム	複合遊具	その他
474	118	528	47	224	64	132	500	65

※複数選択のため延べ数



充実させた方がよいと思われる遊具の第1位は滑り台（24.5%）、第2位は複合遊具（23.2%）、第3位はブランコ（22.0%）である。また、この上位3つを回答した方が、よく利用している公園は「弁天崎公園」と「たかのはら憩いの森」でそれぞれ300件以上の回答だった。

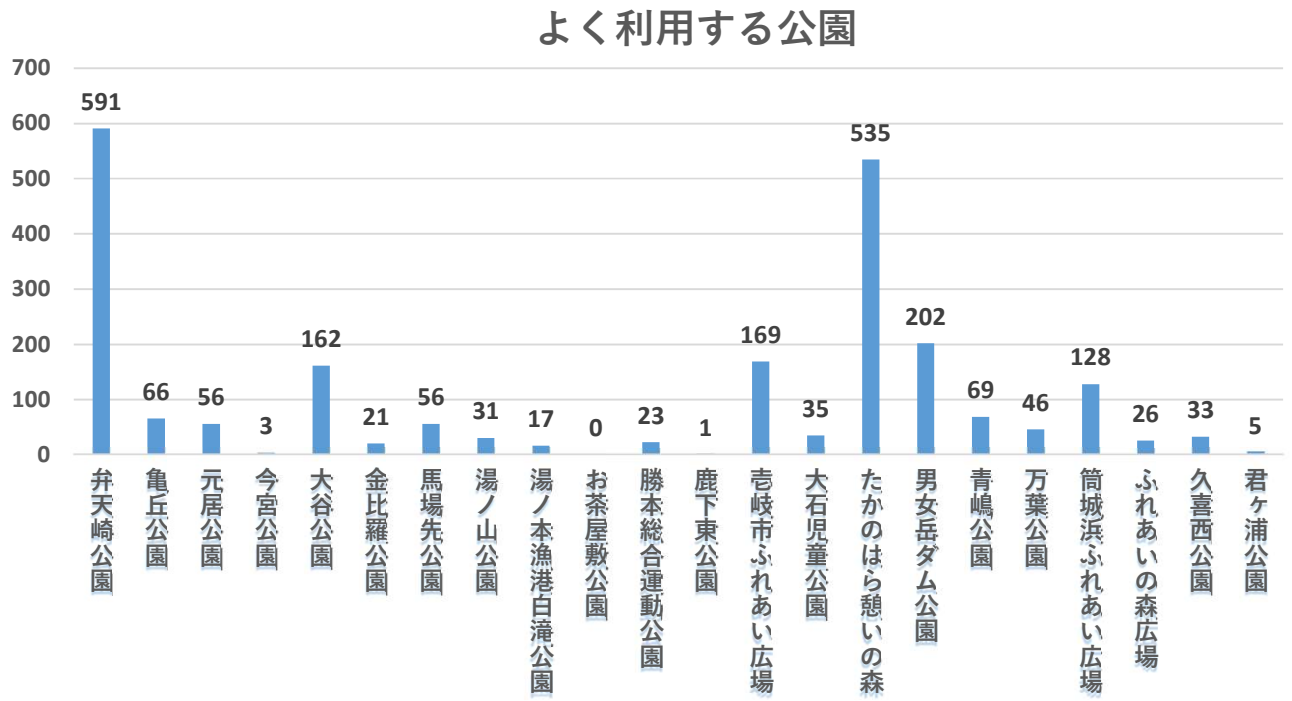
なお、その他の内容としては、ドッグラン、バスケットコート、スケートボード場など多岐に渡っていた。

4）主要公園の利用状況

集計項目：Q7.市内でよく利用される公園を3つまで回答してください。（n=2275）

弁天崎公園	亀丘公園	元居公園	今宮公園	大谷公園	金比羅公園	馬場先公園	湯ノ山公園	湯ノ本漁港白滝公園	お茶屋敷公園
591	66	56	3	162	21	56	31	17	0
勝本総合運動公園	鹿下東公園	壱岐市ふれあい広場）	大石児童公園	たかのはら憩いの森	男女岳ダム公園	青嶋公園	万葉公園	筒城浜ふれあい広場	ふれあいの森広場
23	1	169	35	535	202	69	46	128	26
久喜西公園	君ヶ浦公園								
33	5								

※複数選択のため延べ数



【上位人気：弁天崎公園・たかのはら憩いの森・男女岳ダム公園】　（n=763）

〇公園の利用頻度

ほぼ毎日	週2.3回程	週1回程	月数回	年数回	利用していない	無回答
6	50	115	222	304	63	3
0.8%	6.6%	15.1%	29.1%	39.8%	8.3%	0.4%

〇利用している公園において、充実させた方がよいと思われる遊具

	順位		
	第1位	第2位	第3位
弁天崎公園（n=591）	滑り台	複合遊具	ブランコ
たかのはら憩いの森（n=535）	滑り台	複合遊具	ブランコ
男女岳ダム公園（n=202）	滑り台	複合遊具	ブランコ

市内でよく利用される公園は第1位 弁天崎公園、第2位 たかのはら憩いの森、第3位 男女岳ダム公園となり、「弁天崎公園」と「たかのはら憩いの森」を合わせて49.4％と過半数を占めていた。

どの公園においても、「滑り台」、「複合遊具」、「ブランコ」の3つの充実を大多数の方が希望されている。

現状ある滑り台、複合遊具、ブランコは適宜修繕を行い、引き続き使用可能な状態を維持するよう努める。

5） 市民の「生の声」

集計項目：Q8.どのような公園だったら遊ばせたいですか？　（n=625）



III. 総括と今後の展望

1）本調査のまとめ

本調査では、子育て世代（30-40代）を中心に855件の回答を得られた。公園の利用者は郷ノ浦・芦辺町の居住者が多く、7割以上が子供連れで弁天崎等を遊具目的で訪れている。一方で、625件の自由記述からは「遊具の安全・修繕」、「トイレの清潔さ」、「公園の移設・再編」を求める切実な願いや、未来の公園に対する期待が数多く込められていた。

2） 長期的な視点に立った公園整備の方針

市として、これら貴重なご意見を一つひとつ受け止め、目先の対応のみならず、長期的な視点から安全性を持続させるため、遊具の更新計画やメンテナンス体制の抜本的な見直しを行い、将来にわたって安心して遊べる環境づくりを推進いたします。